

# ピアホームだより

2017. 4. 10

## 平成29年度事業開始

—アドボケイト会ピアホーム事業計画—  
はじめに

リトルハウスは、23年、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業へ移行を果たした後順調に推移してきました。26年4月には、新しい施設へ本部・リトルハウスの移転を果たし、資産の効果的な移転を図ったところですが、昨年28年度には新しい事業展開も開始しました。

一方、21年に開設したグループホーム・ピアホームも27年4月から1室増やして全9室となり堅実な運営ができています。

リトルハウス開所から13年、ピアホームも5月で8年、板橋区における精神障害者の社会復帰施設として確実な地歩を築きつつあります。その責任を自覚し、今後とも関係機関、地域との連携を図りながら数年先を

見据えたアドボケイト会の事業展開を図って行きます。

この事を踏まえ、アドボケイト会として27～29年の3カ年事業計画を立てています。

基本方針は以下の3点になります。

- 一 余裕が出た資金を有効に活用し新しい事業展開の礎として行く。
- 一 着実で持続的な運営を図るため、組織運営体制を確立して行く。
- 一 関係施設との連携を一層密にして行く。

### 1 29年度アドボケイト会事業計画

施設間連携強化の実施

- ① 交流会・勉強会
- ② 地域交流

28年度は、顧問医白石教授を迎えて症例検討会を実施した。友好施設クラブハウス町田と連携し講演会・勉強会も継続している。白石教授主催の「家族と専門家の交流会」には20年来欠かさず参加している。リトルハウス開所以来、板橋区指針保健福祉連絡会で事務局と交流部会事務局などの役割を果たして来ている。これらを引き続き発展的に継続していく。28年度には新しくグループホームが2施設開設、それらの施設を加えた

連絡会がつくられ情報交流を図っている。

このところ、事業を通じ、地の利もあり、高島平こころのクリニック、区障害者センター、生活訓練センター・サンライズとの地域的な連携を深めている。

### 2 29年度リトルハウス事業計画

### 3 29年度ピアホームの事業計画

#### 1 個別支援計画の強化

個人の状況に合った適切な利用計画を実施していく。そのため、入居後の大胆な見直しも行う。

#### 2 住まいの安全性の向上

昨年度消防法の改正があり、28年度グループホームの自動火災報知設備を設置した。

29年度より、災害対策訓練などを実施しソフト面の対応も充実していく。28年度、公共や福祉施設などのアスベスト対策の調査があり、当所としても対応を検討していく。

#### 3 区内グループホームとの連携強化

グループホーム連絡会を活用していく

### 今月の予定

<4月10日>会計会議

<4月23日>白石先生主催「交流会」